

涼しくなる季節。特に夕暮れ時の外出時は交通事故に注意！

注意①

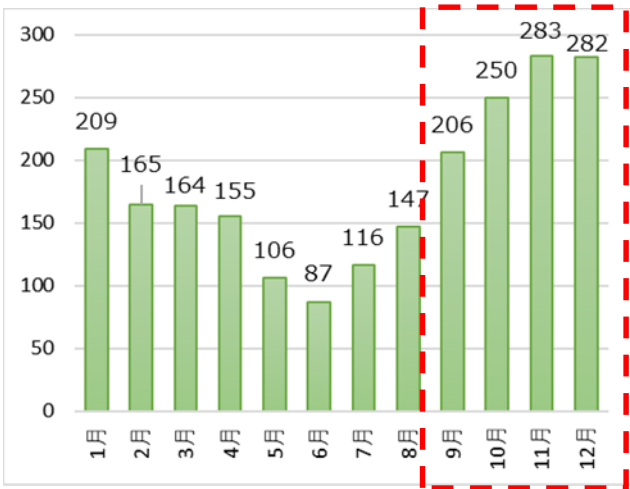
9月以降の夕暮れ時 17～19時台に重大事故の発生件数が増加する傾向があります。

注意②

『自動車』対『歩行者』の重大事故が多く、約9割は歩行者が道路を横断しているときに発生します。

●月別の死亡事故件数【夕暮れ時間帯】

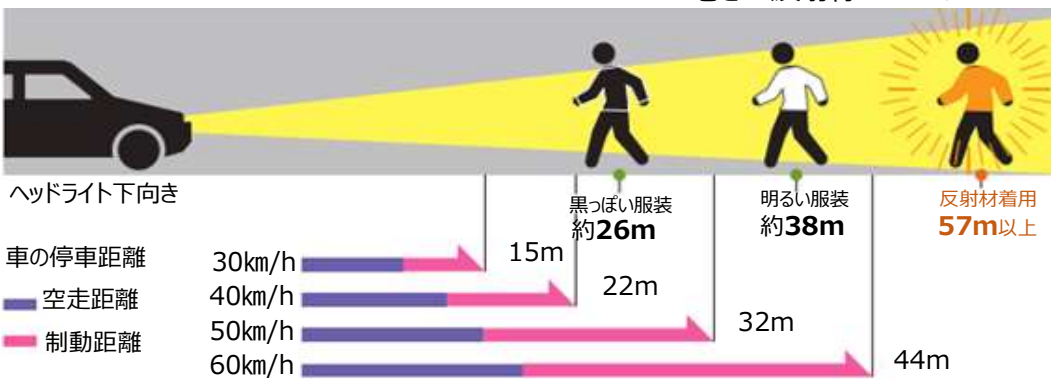
※警視庁HPより抜粋 (平成28年～令和2年合計)



9月以降は、**周囲が見えにくくなる時間帯**と、通勤・通学や買い物などで**人や車が交差する時間帯**が重なります。

その為**夕暮れ時から夜間にかけて**、死亡事故や重傷事故が増加する傾向があります。

●夜間の車から歩行者が見える距離



・ドライバーが歩行者を発見し車が止まれるまでの距離は、乾いた路面を時速60kmで走行していて約44mですので、**明るい服装でも交通事故に遭う危険性**があります。**反射材**を身につけている場合は約57m以上先からの視認性がありますので、反射材を身につけていない時に比べ、安全性が格段に高くなり「安心・安全」です。

※日本反射材普及協会より抜粋

●交通事故を防ぐために

①外出の際は、

明るい服装や**反射材**、**ライト**の活用を！

特に**反射材**を使用すると自分の存在を相手に知らせることができ、交通事故防止に有効です。

②道路横断に関する**交通ルール**を守りましょう！

- ・道路を斜めに横断しない。
- ・近くにあれば、横断歩道を横断する。
- ・横断が禁止されている道路を横断しない。



市販の反射材や自転車用のライトも活用できます。



巻きつく反射材



自転車用ライト



タスキ

反射材付のエコバックや靴に貼るタイプも市販されています。

特に今年は猛暑の影響で、日中の外出を控え、夕方以降に買い物等の外出をされる方が多い印象です。

暗い時間の外出は基本的にオススメできませんが、熱中症対策も重要です。

服装の工夫や反射板の活用で、安全に外出しましょう。



介護ショップらくだ
TEL:03-5762-8568